

- 問1 1世紀の日本（倭）の王が中国の漢から授かった「漢委奴国王」と記された金印や、7世紀後半から8世紀前半にかけて日本で発行された「富本銭」と「和同開珎」について述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 「富本銭」は、708年に武蔵国から銅が献上されたことを記念して発行された日本最古の貨幣である。
 2. 「和同開珎」は、天武天皇の時代にまじないや儀式用として初めて製造された貨幣である。
 3. 「漢委奴国王」の金印を授かったのは、3世紀に魏へ使者を送った邪馬台国の女王・卑弥呼である。
 4. 「漢委奴国王」の金印は福岡県の志賀島で発見されており、当時の倭の勢力が中国の王朝と外交関係を持っていたことを示している。
- 問2 律令時代の税制について述べた次の文のうち、当時の農民にとって「都までの輸送」という大きな負担を伴った税の説明として正しいものを選びなさい。（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 各地の特産物である絹や糸、布などを都へ直接納めるもの
 2. 地方の国司のもとで、1年間に60日を限度に労働を行うもの
 3. 京での労働のかわりに、布を都へ納めるもの
 4. 収穫した稲の約3%を地方の国衙にある倉庫に納めるもの
- 問3 奈良時代の天平文化を代表する建築物で、東大寺の境内に位置し、聖武天皇が愛用した品々やシルクロードを経由して伝わった国際色豊かな宝物を数多く収めている建物の名称を答えなさい。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 正倉院
 2. 法隆寺金堂
 3. 平等院鳳凰堂
 4. 唐招提寺金堂
- 問4 奈良時代の班田収授法における、口分田の配分や管理の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 土地の不足を解消するため、新しく開墾した土地であれば、返還せず永久に私有することが認められた。
 2. 戸籍に登録された6歳以上の男女すべてに与えられ、その面積は性別や身分によって違いがあった。
 3. 口分田は一度与えられると、本人が死亡した後も子孫が代々受け継いで耕作することができた。
 4. 税の負担を公平にするため、身分に関わらずすべての国民に全く同じ面積の土地が与えられた。
- 問5 律令制度のもとで、都へ納めるべき「調」の品目として、各地の地理的条件に合わせて選ばれたものの組み合わせとして適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 各地の口分田から収穫された大量の稲や粟
 2. 外国との交易で得られた香料や貴金属
 3. 海に近い国々からの塩や魚の干物、山間部からの絹や糸
 4. 都での土木工事や警備に従事するための労働力
- 問6 奈良時代の対外交流を示す歴史上の記述において、遣唐使が唐の僧侶である鑑真を日本へ招いた主な目的として、最も適切な背景はどれか。（2015年 鳥取県公立入試 類似）
1. 仏教の正しい戒律を伝え、僧侶の資格制度や秩序を整えるため
 2. 隋の優れた政治制度を学び、冠位十二階などの制度を導入するため
 3. 遣唐使を廃止し、日本独自の国風文化を確立させるため
 4. 白村江の戦いで敗れた後、唐との軍事同盟を強化するため
- 問7 律令国家では「公地公民」の原則のもと、人々に口分田を与えて税を徴収する班田収授法が行われました。しかし、人口の増加により土地が不足したため、743年に新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認める法令が出されました。この法令の名称を選択してください。（2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 班田収授の法
 2. 墾田永年私財法
 3. 三世一身の法
 4. 地租改正法
- 問8 奈良時代末期にまとめられた、天皇や貴族から、防人や農民といった庶民にいたるまで、幅広い層の人々の歌が収められている日本最古の歌集は何ですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 新古今和歌集
 2. 万葉集
 3. 懷風藻
 4. 古今和歌集
- 問9 710年に藤原京から平城京へと遷都が行われた背景や目的について、当時の国家体制の仕組みと関連させて説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2021年 静岡県公立入試 類似）
1. 僧侶の政治介入を防ぐために、東大寺などの有力な寺院を都の郊外に強制的に移転させ、政治と宗教を分断するため。
 2. 東北地方の蝦夷に対する征討を進めるにあたり、軍事拠点としてより北方に位置する奈良の地が地理的に有利であったため。
 3. 遣唐使の派遣を停止し、日本の独自の風土に合った国風文化を醸成するために、大陸の影響を受けない新しい都を求めたため。
 4. 律令に基づいた天皇中心の中長集権的な政治体制を、国内外に誇示するために、より大規模で威容のある都が必要とされたため。
- 問10 奈良時代の日本が、危険を冒してまで唐に「遣唐使」を派遣し続けた政治的背景として、最も適切な理由はどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）
1. 元（モンゴル帝国）の襲来に備え、大陸の軍事拠点と防衛同盟を結ぶため
 2. 鎖国政策を維持するために、特定の貿易港でのみ交流を制限する交渉を行うため
 3. キリスト教を国教として採用し、寺院の勢力を抑えるための新しい宗教政策を導入するため
 4. 律令制度などの優れた仕組みを学び、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整えるため
- 問11 奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集であり、天皇や貴族といった特権階級だけでなく、防人（さきもり）や農民といった庶民の歌まで幅広く収められている作品として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
1. 古今和歌集
 2. 日本書紀
 3. 万葉集
 4. 風土記
- 問12 奈良時代、西アジアやインドを起源とする国際色豊かな文化や宝物が、中国大陆での交易を経て日本へもたらされました。これら多くの宝物が現在まで良好な状態で収められている正倉院の品々に見られるような、内陸アジアや西アジアとのつながりを示す陸上の交易路を何といいますか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. シルクロード（絹の道）
 2. 茶馬古道（ちゃばこどう）
 3. アップピア街道
 4. スパイスルート（香辛料の道）
- 問13 東大寺の正倉院には、聖武天皇ゆかりの品々が数多く収められています。その中の一つに、深い青色をしたガラス製の器である「瑠璃杯（るりつき）」があります。この器は西アジアに起源を持ち、唐を経由して日本へもたらされたことが判明しています。このような国際色豊かな特色を持つ、8世紀の文化の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. 天平文化
 2. 飛鳥文化
 3. 白鳳文化
 4. 国風文化